

署名集約数 (目標 30 万筆)

59,064 筆

「禁止条約参加署名」共同提出 (1次) のつどい

下の写真は、共同提出の後の参加者全員の記念写真です。



静岡から参加した志田連絡会事務局長が、一言静岡の取り組みについて述べ、外務省の担当者池松氏に署名を提出しました。連絡会としての参加は山梨、愛知、静岡の3県のみでした。

日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める署名の国会共同提出 (第一次) が、22日、衆院第1議員会館で行われ静岡からは大牧原水協事務局長、志田署名推進県連絡会事務局長の2名が参加！

4月22日、志田さんと二人で2年2か月ぶりに東京へ出かけた。日本政府への署名提出だ。静岡では5万9064筆の署名が集約されていたが、県原水協に寄せられた現物署名は8042筆であった。まだ、団体事務所などに残っているものがあるかもしれない。

その結果か、全国では96万0538筆と100万筆に届かず残念。提出会場の衆議院議員会館には、25都道府県の代表などが集まり、立憲野党の議員などが激励に駆け付け、大いに盛り上がった。

ロシアのウクライナ侵攻で核兵器をめぐる情勢が緊迫、「核共有」などの主張が報道され、改憲を支持する人が増えているという世論調査もある。「ピンチをチャンスに」核兵器のない世界へ、「トラブルを紛争にしない。紛争を戦争にしない」という平和外交、「国連憲章」の考え方を国内世論の大勢にするための世論作りが、今求められている。

静岡県原水協事務局長 大牧正孝



2021年1月22日の島田大日堂の鐘つき



若者にも積極的にアプローチ



議会での活動の話を訴え署名



市議会への意見書採択に向けての要請行動



署名行動に参加した島田支部の皆さんの記念撮影

新婦人島田支部では、2022年1月19日に『『日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書』の提出を求める請願』を島田市議会議長に提出しました。残念ながら請願は、賛成5、反対14で採択されませんでした。反対意見の多くは、核兵器廃絶には賛成だが、日本の安全保障を考えると賛成できない、時期尚早だというものでした。これからも日本政府に核兵器禁止条約への参加を訴えていきたいと思えます。

(大石嘉子)

2021年1月22日に核兵器禁止条約が発効されました。

歴史的なこの日、新婦人島田支部では、大日堂と医王寺で平和を祈念して鐘つきを行いました。月1回行っていた街頭署名は、今までの「ヒバクシャ国際署名」から「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める署名」に変わりました。毎月コープ前で6～8人ぐらいで署名活動を続けてきました。桜井市議と四ツ谷市議がマイクで訴える中、私達はまわりで署名をお願いしたり、パネルを掲げたり、チラシを配ったり・・・この1年コロナ禍の中感染拡大のためやむなく中止したり、雨で中止になったり、風が強すぎてパネルが飛ばされてしまうため30分で署名活動をやめて引き上げた日もありました。

核兵器禁止条約発効から1年経った2022年1月22日も8名が参加してコープ前で署名活動を行い、1時間で33筆集めました。寒い日でしたがよく晴れていて、家族連れの若い人も多く、いつもより署名が集まりました。ある年配のご婦人が署名のあとで「寒いから風邪をひかないようにして下さい」とやさしく声をかけてくれました。心がほっこり暖かくなりました。

5月の署名活動は、25日に「平和アクション行動」としておおるり前で行う予定です。新婦人島田支部では、これからもコープ前でずっとずっと続けていかなければならない大切な活動だと思っています。核兵器のない平和な世界の実現のために！

(島田 広瀬美知子)